

事業完了報告書

調査研究期間等

調査研究期間	令和2年6月2日 ～ 令和3年3月15日
調査研究事項	<p>《委託研究：夜間中学における教育活動充実に係る調査研究》</p> <p>I 教育課程に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの実態に応じた教育内容の充実と効果的な指導についての研究を行う。 ・より多くの希望者への教育機会の提供拡充に資するため、義務教育未修了者・入学希望既卒者・外国籍の者等に対する学習活動の工夫改善と実態把握に取り組む。 <p>IV 教職員の配置・研修に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会等に参加し、協議することにより、教職員の資質を向上させる。 <p>V 環境整備に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門スタッフ（日本語指導）を活用した教育活動の在り方について研究する。 <p>VI その他夜間中学における教育活動充実に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育機会の提供拡充の工夫について、これまで先進的に取り組んできた本市の状況を積極的に発信するとともに、他都市との情報交換を推進する。
調査研究のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・本市では、4つの夜間学級を設置し、在籍者数は近年横ばい傾向である。一方で、義務教育未修了者に加えて入学希望既卒者、外国籍の者等、受け入れる生徒は多様化している。そのため、年齢や国籍、生活習慣が異なる生徒への対応が難しく、生徒一人ひとりに寄り添った学習指導が求められる。また、小学校未就学の者から中学を卒業した既卒者まで在籍するという現状において、一人ひとりの習熟の差は大変大きく、通学の目的も中学校教育の履修のみならず、高等学校受験など多様である。 ・中学校夜間学級において教育機会の提供拡充をより一層推進するために、生徒一人ひとりの実態に応じた教育内容の充実と効果的な指導を行うことが必要であり、そのような指導の向上を図るための調査研究を行うとともに、その成果を積極的に広報する。 ・また、さまざまな生徒への教育機会の提供拡充に資するため、中学校夜間学級について広く他府県の情報収集及び情報提供を行う等、調査研究を推進する。
調査研究の成果	<p>I 教育課程に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒文集の作成について、1年間の学級活動の柱として、年度当初より取り組んだ。文集指導を通して、生徒理解を深めなが

ら、生徒の日本語運用能力の育成を図ることができた。また、文集作成を通して、生徒が入学前の自身の姿を振り返り、共有することで、自己肯定感の醸成につながった。

IV 教職員の配置・研修に関すること

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、校外の研修会等にはオンラインで参加するとともに、研究授業、教材作成や日本語指導に係る意見交換等については、感染防止対策に十分留意しながら校内研修を実施した。

オンラインによる研修や会議については、機器、環境の問題や操作になれていないこと等、課題が残った。

V 環境整備に関すること

- ・専門スタッフ（日本語指導）を活用した教育活動の在り方について、研究する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、外部講師を招いての研修を実施できなかった。

VI その他夜間中学における教育活動充実に関すること

- ・他都市との情報交換については、新型コロナウイルス感染症の影響で、全国夜間中学校研究大会をはじめ、他都市との連携を図ることが可能な行事が全て中止となったことから、計画通りに取り組むことができなかった。
- ・第66回全国夜間中学校研究大会（紙上発表大会）の資料を活用し、他都市の情報収集に努めた。
- ・校外活動は、感染防止対策に十分留意しながら実施することができた。校内の教育活動では体験できないことを学ぶことができ、学齢期に十分な教育を受けることができなかった生徒にとって貴重な機会となった。また、バスを利用したことにより、高齢生徒が多数参加し、充実した活動となった。
- ・各校で作成した文集を、学校協議会や昼間の学校、地域等に配布することにより、夜間学級の広報に努めた。